

航空公園整備に着手

セキュリティ強化へ垣根設置

大樹町



町が新年度に整備を進める町多目的航空公園。左手前の砂利道を舗装し、駐車場の周囲に垣根を設ける。左奥はJAXAの管制塔

【大樹】町は新年度、町多目的航空公園(町美成)の新たな整備に着手する。セキュリティ面を考慮し、東側の駐車場に垣根を造り、公園内への車の侵入を防止するほか、駐車場から滑走路まで砂利道を舗装化する。新年度予算案に関連予算377万000円を盛り込んだ。

(北雅貴)

同航空公園は1995年に、航空宇宙産業の誘致を目的として開設。町は97年に航空宇宙技術研究所(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)JAXAの無人大気球を飛ばす実験も新たに始まるなど、本格的に同航空公園で航空宇宙関連の実験が実施されるようになった。

害物がなかった駐車場と航空公園敷地の境に長さ約40メートル、高さ約1メートルの垣根を設ける。また、滑走路に砂利が入ることを防

延長1キの滑走路を舗装した98年以降、実験車両の進入を防止する障

ぐため、未舗装だった駐車場から滑走路までの約300メートルをアスファルトで整備する。町では「安全を確保し、実験のス

「スムーズな進行に役立てられたい」としている。